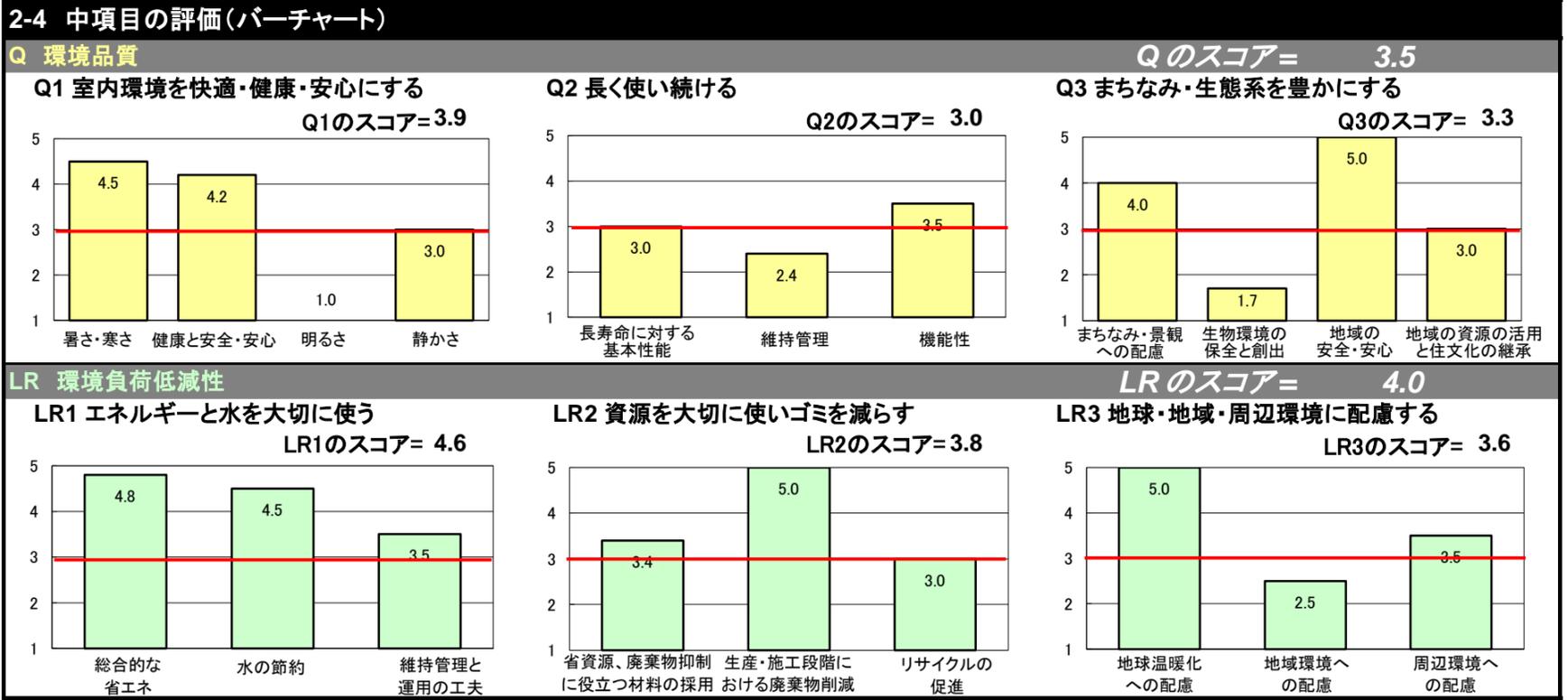
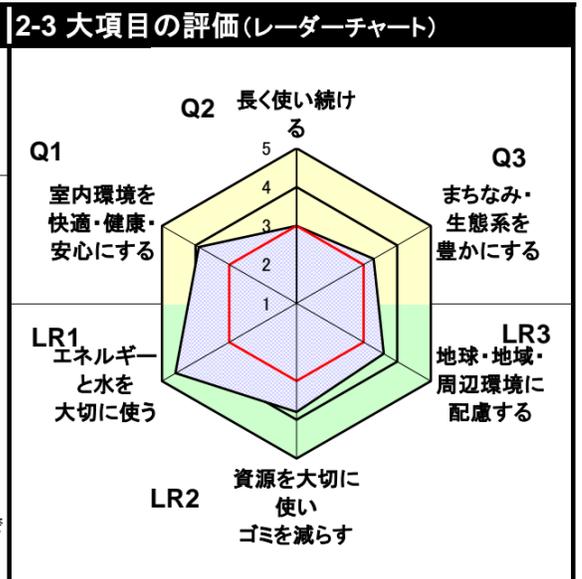
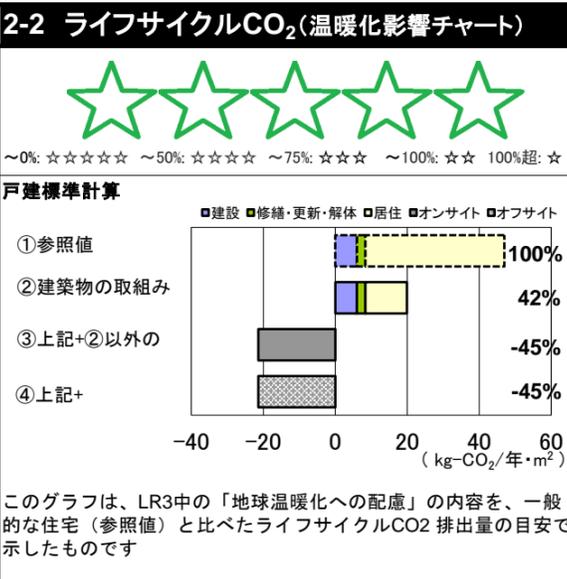
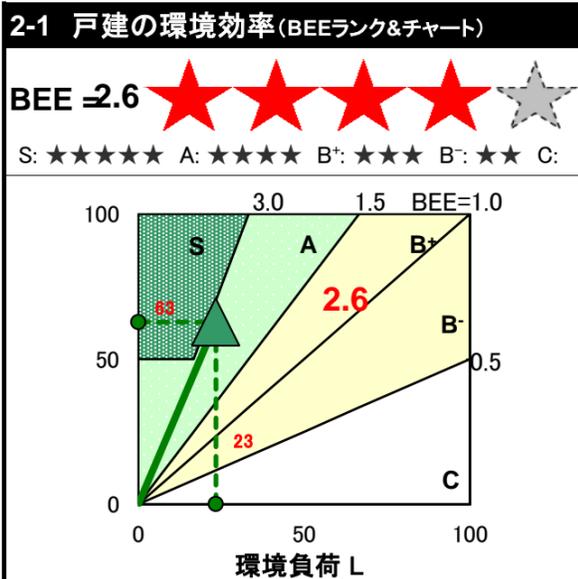




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	仮
竣工年月	2019年12月	竣工		持ち込み家電等	仮
建設地	横浜市戸塚区影取町			外構の仕様	仮
用途地域	市街化調整区域	確定	<備考>		
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木質系パネル工法	確定	評価の実施日	2019年6月28日	
階数	2		作成者	三浦 克仁	
敷地面積	258 m ²	確定	確認日	2019年6月28日	
建築面積	114 m ²	確定	確認者	磯崎 純一	
延床面積	144 m ²				
世帯人数	3	確定			



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>●周辺の自然環境に適した省エネルギーの住宅を目指した ●夏になると南からの通風と冬になると太陽光が差し込むような大きな開口部を南側に設けて一年を通して、家族が集まる場の居心地に配慮した設計とした</p>	<p>●建築環境エネルギー性能表示 (BELS)5つ星取得し、BEIは、0.4以下</p> <p>●横浜市ZEH普及促進補助事業</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>●省エネ基準を満たす断熱サッシと日射侵入率低いLow-Eガラスの採用などによる冷暖房付加の軽減</p> <p>●侵入が可能なサッシは、全て電動シャッターとし、容易に開け閉めできるようにしたと同時に、シャッターの開け閉めの際に生じる室内の快適温度の空気が外部に逃げてしまうことを出来る限り避けた ●換気通風、日射調整への配慮</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>●住宅業界最長レベルの30年保証制度を採用 ●建物の維持管理の為、定期巡回及び定期点検の実施、お客様相談センターによる緊急時の対応の実施 ●維持保全計画書 (30年間) ●地盤調査に基づく安全な基礎方式形状の検討</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>●エネルギー消費対策としてヒートポンプ給湯器を採用 ●水栓に節湯型水栓器具を採用 ●照明エネルギーには高効率なランプLEDを採用</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>●外装材・内装材の仕上げ、下地材で省資源・廃棄物抑制に役立つ材料を使用 ●関東資源循環センターに産業廃棄物を回収、処理することでゼロミッション化を達成している</p>
	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>●比較的広い敷地の中に、南側に大きく庭を取り、既存の果樹等の植栽を残し、周辺の田園風景との調和を図るため、建物を低く抑え、建物を白色系の外壁と紺色の屋根を採用し、落ち着いた外観とした</p>
	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>●従前の果樹等の植栽を残す計画とする</p>



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

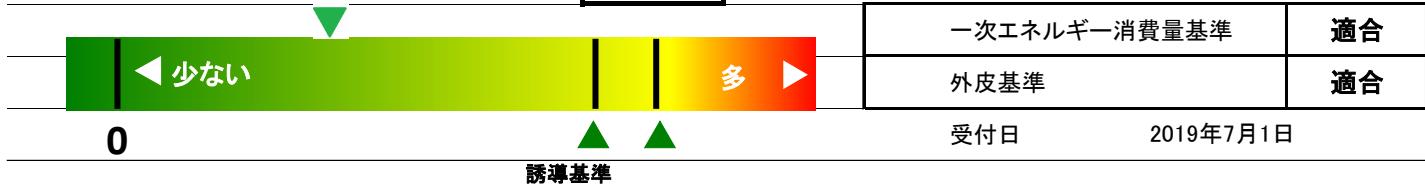
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 61 %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①南側に開口を多く取り、冬季には集熱、夏季には、通風ができるようにした
- ②ヒートポンプ給湯器を使用し、エネルギー消費対策を図った
- ③構造躯体30年保障や定期点検、定期巡回等で、末永く住むためのサポートを完備

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 5

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

- ⑤外部のシャッターは、全て電動シャッターを採用し、室内の温熱環境を保ったままシャッターの開閉ができるようにした

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 あり

- ⑥南側に大きく開口を設け、採光通風を図った

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 4

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑦地盤調査に基づく安全な基礎を採用。
- ⑧30年長期保証により、建物の構造耐力を維持するサポートを完備
- ⑨南側に広い庭を設け、また周囲も見通しもよい環境

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

- ⑩周囲の田園風景との調和を図るため、建物を低く抑え、落ち着いた外観とした
- ⑪建物を建築する際に、大きな庭を残し、植栽も残す計画とした

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄電池

CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 31-042



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)

個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	3.5
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.9
1 暑さ・寒さ		4.5	0.50	4.5
1.1 基本性能		4.6	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	健康・安心 ④暑さ・寒さ	5.0	0.80	-
1.1.2 日射の調整機能	健康・安心 ④暑さ・寒さ	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		4.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50	-
1.2.2 適切な冷房計画		5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		5.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		4.2	0.30	4.2
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災 ⑦災害に備える	4.0	0.25	-
3 明るさ		1.0	0.10	1.0
3.1 昼光の利用		1.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	3.0
1 長寿命に対する基本性能		3.0	0.50	3.0
1.1 躯体	防災 ⑧長寿命に対する基本性能	3.0	0.30	-
1.2 外壁材		4.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災 ⑧長寿命に対する基本性能	3.0	0.30	-
1.5 火災に備える		2.4	0.20	-
1.5.1 火災に耐える構造		1.0	0.65	-
1.5.2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		2.4	0.25	2.4
2.1 維持管理のしやすさ		1.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り		5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	3.3
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑩まちなみ・景観への配慮	4.0	0.30	4.0
2 生物環境の創出		1.7	0.30	1.7
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり ⑪生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり ⑪生物環境の創出	3.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災 ⑨地域の安全・安心	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	4.0
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.6
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能 ①建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 ②設備の性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備		5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 ③維持管理と運用	4.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 ③維持管理と運用	3.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.8
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		3.4	0.60	3.4
1.1 構造躯体		5.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅		5.0	1.00	-
1.1.2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
1.1.3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		4.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.6
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.5	0.33	3.5
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		4.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-